【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和2年1月9日(2020.1.9)

【公開番号】特開2018-86256(P2018-86256A)
【公開日】平成30年6月7日(2018.6.7)
【年通号数】公開・登録公報2018-021
【出願番号】特願2017-205700(P2017-205700)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｈ　33/30　　(2006.01)
Ａ６３Ｈ　 5/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｈ　33/30　　Ｂ
Ａ６３Ｈ　 5/00　　Ｅ

【手続補正書】
【提出日】令和1年11月20日(2019.11.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
演出出力玩具であって、
玩具本体と、
前記玩具本体に設けられ、かつ、操作に応じて揺動可能な揺動部と、
前記揺動部の揺動を検出する揺動検出部と、
前記揺動検出部の検出結果に応じて演出を出力する演出出力部と、
を備え、
かつ、少なくとも２種類のアイテムを備えており、
前記玩具本体は、前記アイテムを着脱可能に装着するためのアイテム装着部を有しており、
前記演出出力部は、前記アイテム装着部への前記アイテムの装着を検出するための装着検出部を有し、
前記装着検出部は、装着された前記アイテムの種類を識別可能であり、
前記演出出力部で出力される演出は、前記アイテム装着部に装着された前記アイテムの種類に応じて異なり、
かつ、前記演出出力部で出力される演出の態様は、前記揺動部の揺動に応じて変化する、
ことを特徴とする演出出力玩具。
【請求項２】
前記演出の態様の変化は、前記演出の速度の変化である、
請求項１記載の演出出力玩具。
【請求項３】
前記揺動部は、前記操作を付与可能な凹曲面部を有している、
請求項１または２に記載の演出出力玩具。
【請求項４】
前記揺動部は、前記玩具本体の開口に揺動可能に装着されている、
請求項１～３のいずれか１項に記載の演出出力玩具。

【請求項５】
前記揺動部と前記玩具本体の少なくとも一方は、前記揺動部の揺動量を規制するための揺動量規制部を有している、
請求項１～４のいずれか１項に記載の演出出力玩具。
【請求項６】
前記揺動部と前記玩具本体の少なくとも一方は、前記揺動部が揺動したときに揺動音を発生可能な揺動音発生部を有している、
請求項１～５のいずれか１項に記載の演出出力玩具。
【請求項７】
前記揺動音発生部は、前記揺動部の前記凹曲面部の表面に設けられた凹凸である、
請求項６記載の演出出力玩具。
【請求項８】
前記揺動音発生部は、前記玩具本体の前記開口の内周面に設けられた凹凸である、
請求項６記載の演出出力玩具。
【請求項９】
前記演出出力玩具は、前記揺動部を操作するための操作用具を備えている、
請求項１～８のいずれか１項に記載の演出出力玩具。
【請求項１０】
前記操作用具は、先端部が丸みを帯びた棒状の形態を有する、
請求項９に記載の演出出力玩具。
【請求項１１】
請求項１に記載のアイテム装着部に着脱可能に装着して使用される、
演出出力玩具用アイテム。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
前記課題を解決するため、本発明に係る演出出力玩具は、玩具本体と、前記玩具本体に設けられ、かつ、操作に応じて揺動可能な揺動部と、前記揺動部の揺動を検出する揺動検出部と、前記揺動検出部の検出結果に応じて演出を出力する演出出力部とを備えている。また、本発明に係る演出出力玩具用アイテムは、前記演出出力玩具の玩具本体に設けられたアイテム装着部に着脱可能に装着して使用される。また、本発明に係る演出出力玩具は、演出出力玩具であって、玩具本体と、前記玩具本体に設けられ、かつ、操作に応じて揺動可能な揺動部と、前記揺動部の揺動を検出する揺動検出部と、前記揺動検出部の検出結果に応じて演出を出力する演出出力部と、を備え、かつ、少なくとも２種類のアイテムを備えており、前記玩具本体は、前記アイテムを着脱可能に装着するためのアイテム装着部を有しており、前記演出出力部は、前記アイテム装着部への前記アイテムの装着を検出するための装着検出部を有し、前記装着検出部は、装着された前記アイテムの種類を識別可能であり、前記演出出力部で出力される演出は、前記アイテム装着部に装着された前記アイテムの種類に応じて異なり、かつ、前記演出出力部で出力される演出の態様は、前記揺動部の揺動に応じて変化する、ことを特徴とする。また、本発明に係る演出出力玩具においては、前記演出の態様の変化は、前記演出の速度の変化であるようにしてもよい。